

『点検支援技術活用及び溝橋定期点検講習会』開催 ～道路橋点検支援技術『ポール打検機』を実演～

福岡県道路メンテナンス会議(会長:国土交通省 福岡国道事務所長)は、市町村支援の一環として『点検支援技術活用及び溝橋定期点検講習会』を下記のとおり開催します。

- 地方自治体からの点検に関する負担軽減等の要望を踏まえ、平成 31 年 2 月改定の道路橋定期点検要領(技術的助言)の周知、普及を図ることを目的に、点検支援技術活用及び溝橋定期点検講習会を行います。講習会では、点検支援技術『ポール打検機^(※1)』を用いた打音検査の実演や、損傷や構造特性に応じて点検対象を絞り込んだ『溝橋定期点検』に関する実務講習(座学・実演)を行います。

※1 ポール打検機:コンクリート構造物における高所の打音検査を支援する技術。最大 8m の伸縮ポールの先に取付けられたハンマー搭載のセンサーヘッドをコンクリート面に押し当てて打音検査を行う。

- 取材をご希望の方は別添申込書に記載の上、福岡国道事務所道路保全課 岩本までご連絡を頂きますようお願い申し上げます。

記

1. 日時:令和元年 8 月 2 日(金)【座学講習】10 時 30 分～12 時 00 分
【現地実演】13 時 30 分～15 時 30 分
2. 場所:【座学講習】リーパスプラザこが 歴史資料館 中会議室
福岡県古賀市中央2丁目13-1(JR古賀駅東口から徒歩6分)
【現地実演】国道 3 号 溝橋 62.370
福岡県古賀市大字鹿部(ししぶ) (別紙地図参照)
3. 実施内容:【座学講習】「特定の条件を満足する溝橋の定期点検に関する参考資料」及び「新技術利用のガイドライン(案)」の概要説明
【現地実演】「特定の条件を満足する溝橋」の点検実習及び点検支援技術「ポール打検機」の現地実演

問い合わせ先:

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所 電話:092-681-4731(代表)
技術副所長 ^{まき き けんぞう} 巻木 健三(内線 205) 道路保全課長 ^{いわもと せいじ} 岩本 誠治(内線 491)
E-mail: gqr-fukkoku@mlit.go.jp URL: <http://www.gqr.mlit.go.jp/fukkoku/>
福岡県 県土整備部 道路維持課 電話:092-651-1111(代表)
課長技術補佐 ^{ながとも かずや} 長友 和也(内線 4483) 市町村道係長 ^{はしづめ ひろのり} 橋爪 博紀(内線 4490)

取材申込書

取材を希望される方は、事前にご登録をお願いいたします。

FAX 送信期限：8月1日（木） 17：00まで

FAX 送付先：福岡国道事務所 道路保全課 岩本

FAX 番号：092-682-7764

※ 取材に当たっての留意事項について

- ・腕章の着用を必ずお願い致します。
- ・駐車スペースが限られているため、車でお越しの際は、極力乗り合わせをお願い致します。（駐車場は会場案内図記載しております。）
- ・現場内では安全管理のため、禁煙とします。
- ・現場内で服や靴が汚れる場合もございますので、あらかじめご了承下さい。
- ・取材を希望される場合は、8月1日 17:00 までに、本紙下欄に報道機関名・取材者名・ご連絡先・駐車台数を記載のうえ送付をお願いします。

■ 報道機関名

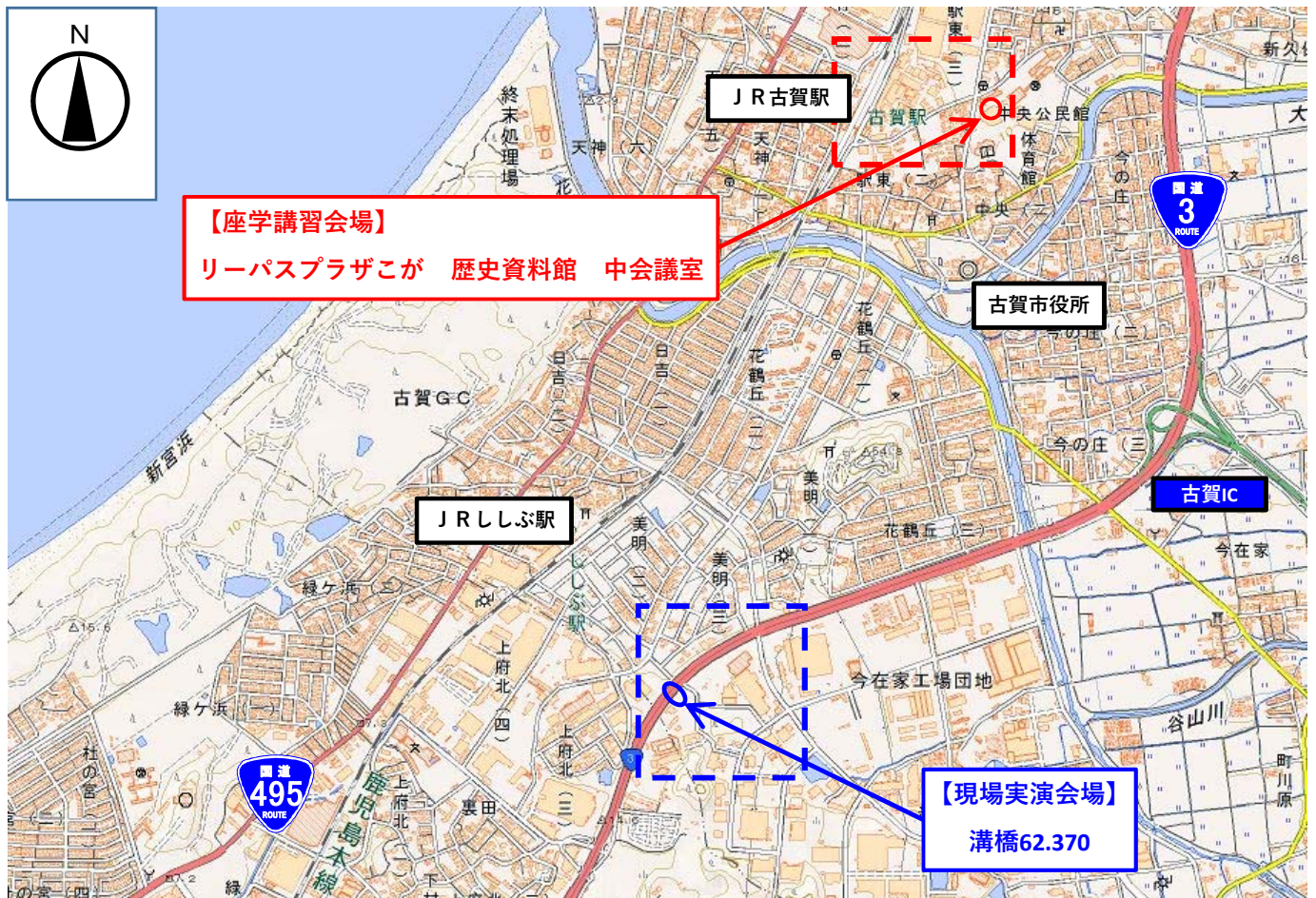
■ 取材者名

■ 連絡先（代表者の連絡先）

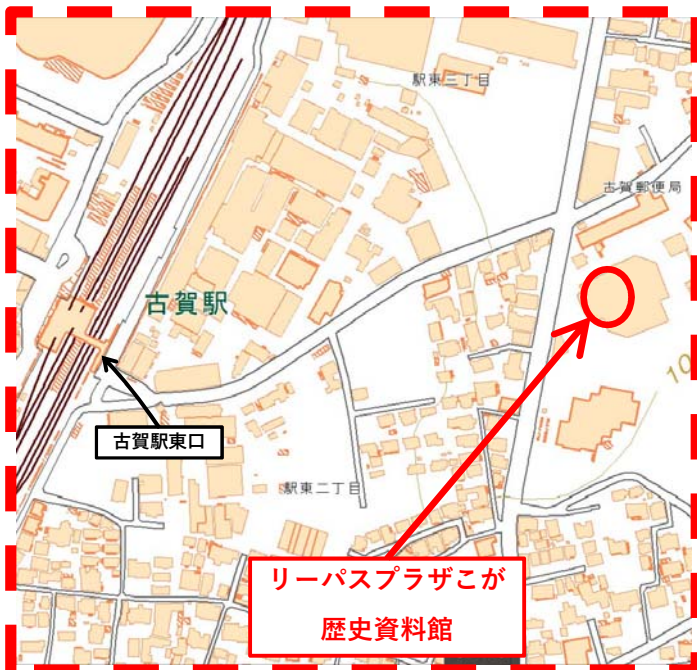
■ 駐車台数

会場案内図

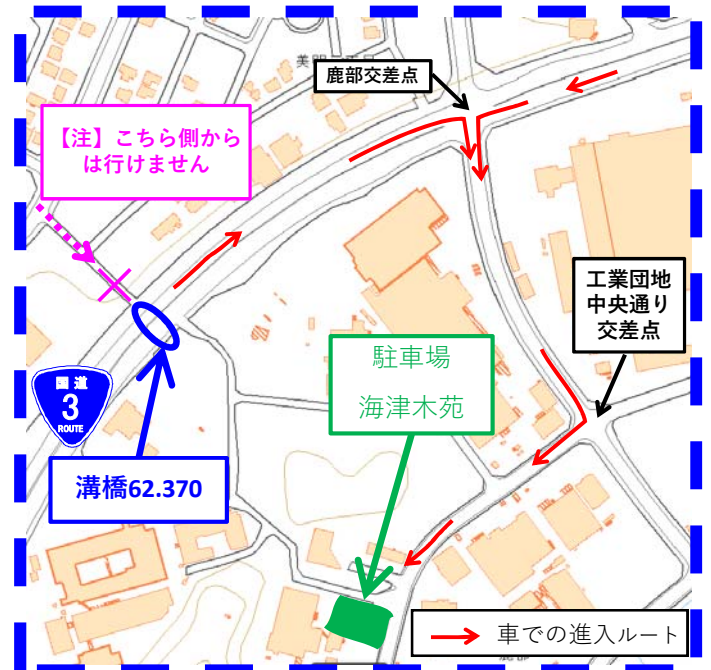
【座学講習会場】 リーパスプラザこが 歴史資料館 中会議室
 【現場実演会場】 国道3号 溝橋62.370



座学講習会場 詳細図

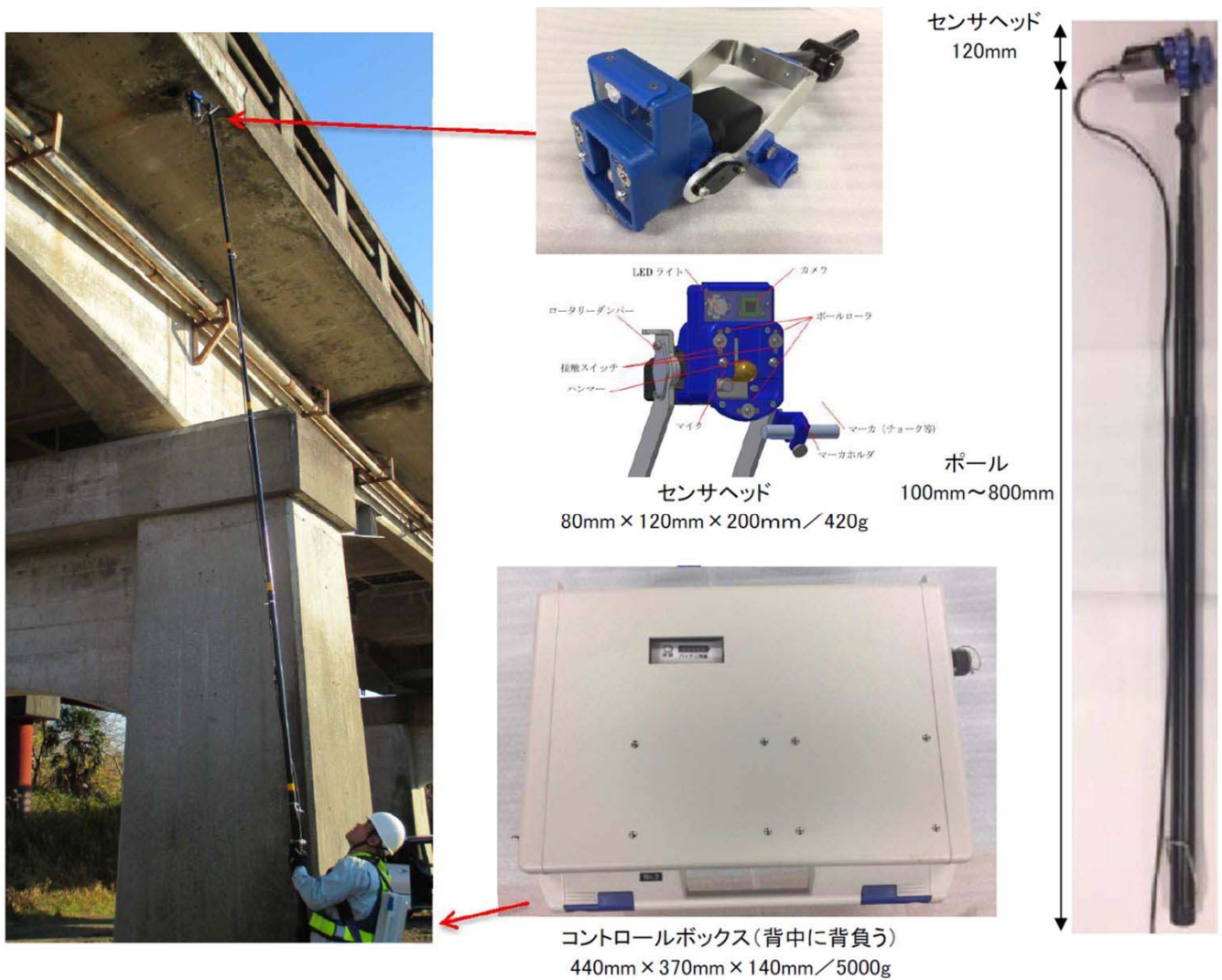


現場実演会場 詳細図



ポール打検機について

コンクリート構造物における高所の打音検査を支援する技術。最大8mの伸縮ポールの先に取り付けられたハンマー搭載のセンサーヘッドをコンクリート面に押し当てて打音検査を行う。



「点検支援技術性能カタログ(案)平成31年2月時点」
(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen.html>) より抜粋

★溝橋とは

道路の下を横断する道路や水路等の空間を確保するために盛土あるいは地盤内に設けられる構造物で、橋長2m以上かつ土被り1m未満のボックスカルバートのことをいいます。

★打音検査とは

コンクリートの表面をハンマーで叩いたときに反響する音の高さやその際の感覚により、コンクリートの劣化などの異常を検知する点検手法です。

【打音検査状況】

